

文化シャッター株式会社
本社
東京都文京区西片1丁目17-3 〒113-8535
お客様相談室 03 5844-7111
www.bunka-s.co.jp/

■製品保証

保証期間
施工業者よりの引渡し日(注1、注2)から2年間とします。(電装部品については1年間)
また、修理・点検により部品交換した場合は、交換した部品に対して1年間とします。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。
(注3)ドアクローザや錠前の保証期間は、上記にかかわらず、別途定めた内容によります。

保証内容
取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。
ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。
なお、強風時に雨水が浸入することがありますが、この製品上の特性であり不具合ではありません。

免責事項
①天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
②製品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗、木製品のそり、干割れ等)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)、またはこれらに伴う錆、かび、またはその他の不具合
③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
④自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)
⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)
⑥建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑧当社の手配によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など)
⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部分の取外しを含む)に起因する不具合
⑩引渡し後の操作誤り、整備不良または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴う錆などの不具合
⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合
⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※次のような消耗品については有料となります。
気密材、モヘア、小口カバー、操作ツマミなどの合成樹脂部品
※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

修理・点検に関するお問い合わせは
☎ 0120-365-113
365日いいサービス



突然のシャッターや窓シャッターの故障。
そんな時は、文化シャッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

■定期点検契約のすすめ

未永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に働くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

■お手入れ方法

1)外部設置建具
●スチール、ステンレス、アルミ製品共通
・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、乾いた布で水分を拭き取ってください。それでも落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤溶液を使用したのち、洗剤の成分が残らない様に水を軽く絞った布でよく拭き取って、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・強風の際(特に台風の場合)は、塩分が内陸部まで飛来することがあり、建具に付着して錆を促進させることがありますので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

(注意事項)
・お手入れの際には、柔らかい布をご使用ください。
・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。
・製品にキズが付くと、錆の原因となります。
・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガンリン、殺虫剤などの有機溶剤は、塗膜の剥がれ、変色や腐食の原因となりますので絶対に使用しないでください。

●ステンレス部品の注意事項
・ステンレスは錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤溶液を使用したのち、洗剤の成分が残らない様に水を軽く絞った布でよく拭き取って、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

●お手入れ回数の目安
(1年あたりの回数)

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1～4	1～3	1～2	1
ステンレス(素地)	10～12	8～10	8～10	4～6
アルミ(クリア塗装)	1～4	1～3	1	1

●スチール塗装品の再塗装
再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3～7年に1度が適当です。

2)内部設置建具
●スチール、ステンレス、アルミ製品共通
・水でぬらし硬く絞った布で清掃します。汚れがひどい時には、水または中性洗剤を薄めた溶液で拭き取り、洗剤を使用した場合は、洗剤の成分が残らない様に水を軽く絞った布でよく拭き取って、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・室内建具であっても、建物が沿岸や幹線道路沿いである場合、塩分や排気ガス等を含んだ空気が室内に入り、建具に付着する事で、錆が発生する事がありますので、それらの場所ではこまめな清掃をお勧めします。

(注意事項)
・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。
・製品にキズが付くと、錆の原因となります。
・汚れがついた場合は、早い時期に清掃してください。長時間放置しておくで汚れが取りづらくなるばかりか、変色や腐食する場合があります。
・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガンリン、殺虫剤などの有機溶剤は、塗膜の剥がれ、変色や腐食の原因となりますので絶対に使用しないでください。

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。



エア・バランスー

開放軽減機構付き鋼製ドア

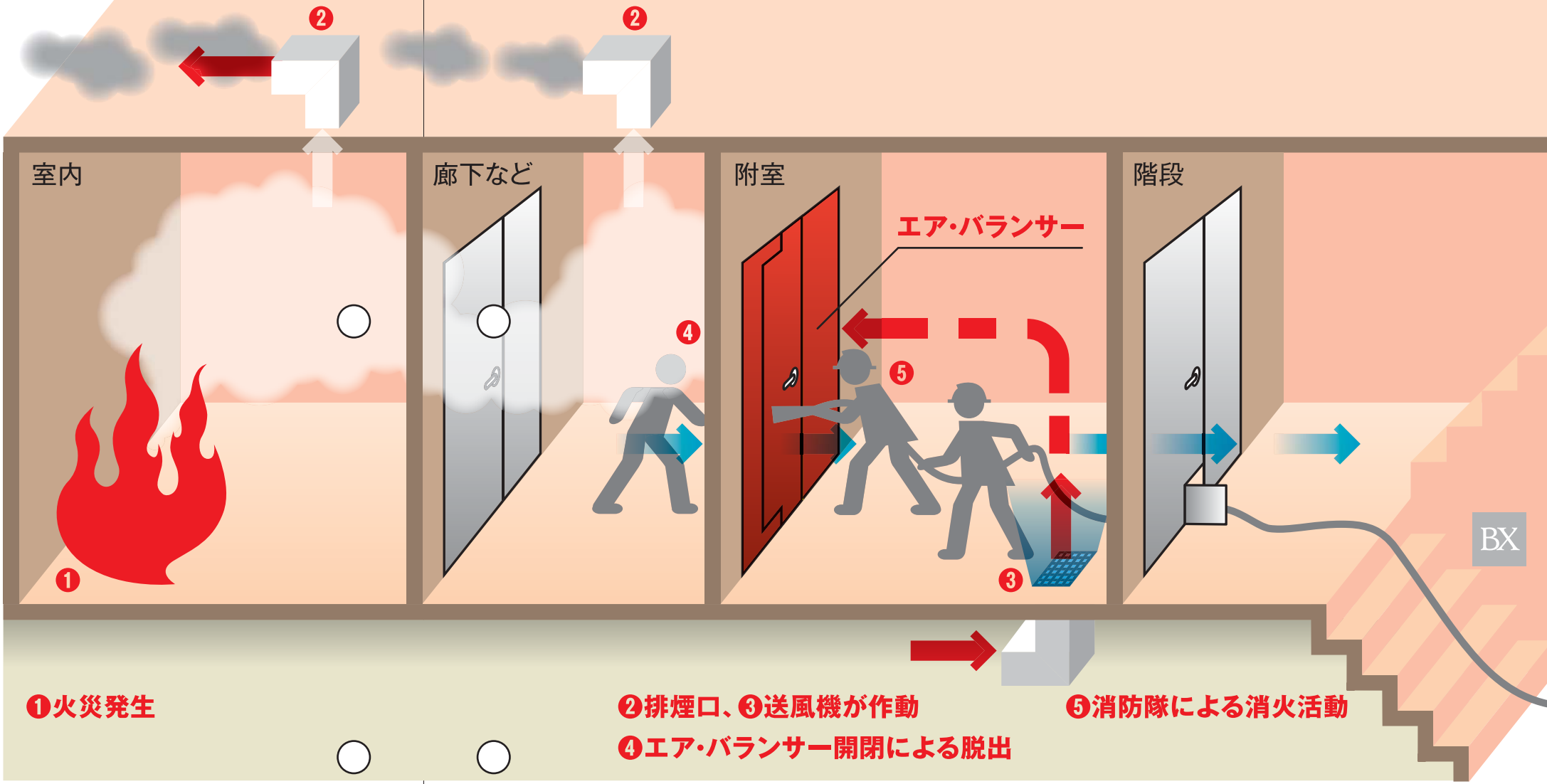
扉単体で火災時の避難経路の安全性を確保。
圧力差による開放力を軽減する扉を開発しました。



扉単体で火災時の避難経路の安全を確保。 圧力差による開放力を軽減する扉、「エア・バランサー」を開発しました。

地震大国日本では近年BCP対策が急速に進み、
非常時の安全確保への取り組みが求められています。
特に地震による火災の対策には大きな注目が集められています。
このようなことから、
平成21年9月に加圧防排煙の告示(国土交通省1007・1008号)により、
送風機稼働時の扉の開放力が「100N以下」と規定されました。
そこで、火災時に加圧防排煙設備が作動した際の圧力差による
扉開放困難を解消し、安全な避難経路の確保、
消防活動に有効な防火戸を開発しました。
それが、開放軽減機構付き鋼製ドア「エア・バランサー」です。

「エア・バランサー」は加圧防排煙設備を設ける
特別避難階段の附室に設置する防火戸です。
加圧防排煙設備作動時は、圧力差による扉の開放力を軽減する
独自の開放軽減機構(特許取得済)により
防火区画と区画外の圧力差が500Pa時であっても
100N以下の力で開放可能です。
それにより火災時の避難経路を確保し
スムーズな避難が行えるとともに、
消防隊の侵入を容易にし消火活動を手助けします。



「エア・バランサー」の特長

軽い操作力

防火区画と区画外の圧力差が500Pa時であっても開放軽減機構により100N以下の力で扉を開放できます。

■開閉力の社内試験値

差圧(Pa)	平均開閉力値(N)
248	59.7
500	69.5
970	91.0

※本データは開口Hを2,100とし、プッシュプル計測機にて3回ずつ測定を行い、平均値を示したものであり、保証値ではありません。

表彰

「エア・バランサー」は平成25年、消防防災機器等の開発・改良に関する表彰(通称:消防庁長官表彰)で「優秀賞」を受賞しました。



消防ホース通過口(オプション)

消防関係者が消火活動を行う際に、消防ホースをエア・バランサーの下部に設けた消防ホース通過口に通すことで、開け閉めのたびにホースが挟まれることなくスムーズに消火活動が行えます。



目板タイプ

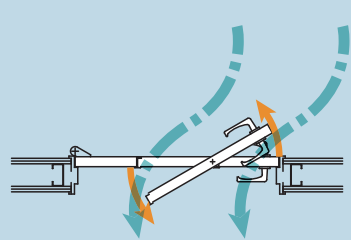


フラットタイプ



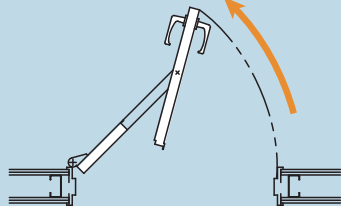
「エア・バルンサー」の開閉方式

加圧防排煙設備作動時



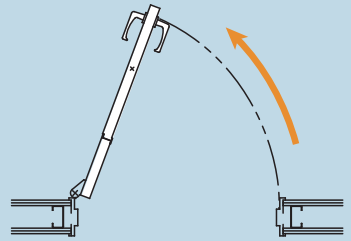
独自の開放軽減機構により圧力差による開閉負荷が生じた場合のみ、戸先側のバランス扉が回転する構造です。

1



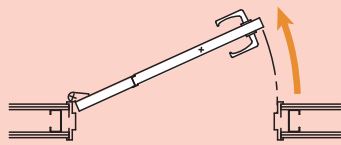
回転したバランス扉の隙間に空気の通り道ができることで、気圧の高い方から低い方へ空気が流れていくため、圧力差が軽減され、開けやすくなります。

2



バランス扉はほぼ90°まで開きます。手を離すと自動的に閉鎖します。

3



加圧防排煙が作動しない平常時は一枚扉として開閉が可能です。

平常時開閉

■扉バリエーション

目板タイプ

片開き	親子開き	両開き

フラットタイプ

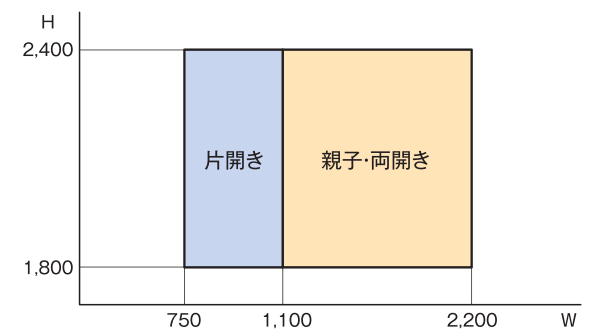
片開き	親子開き	両開き

■仕様

	名称	材質	板厚(mm)
枠	上枠・たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
	沓摺	ステンレス鋼板	1.5
	気密ゴム	EPDM又はクロロブレンゴム	
	表面仕上	防錆塗装仕上*	
扉	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
	力骨	溶融亜鉛めっき鋼板	2.3
	中骨	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
	表面仕上	防錆塗装仕上*	

※オプション：焼付け塗装

■枠製作範囲表(mm)



■使用金物例

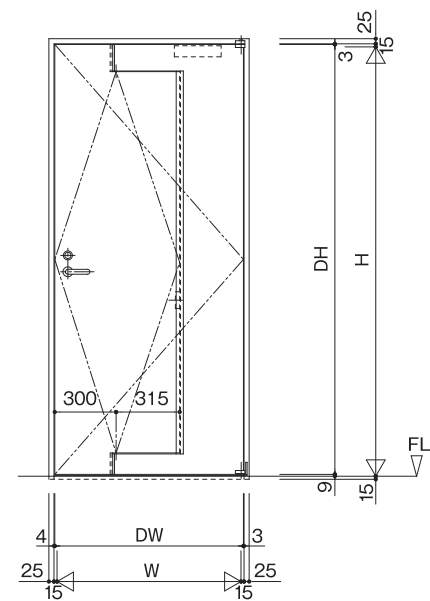
レバーハンドル錠 美和ロック/LAシリーズ・AURシリーズ ゴール/LXシリーズ・EURシリーズ	ケースハンドル(ラッチ付) 美和ロック/OMCC ゴール/UCC-1	ドアクローザ ニュースター/7000シリーズ GRADE1 リョービ/1000シリーズG1 ※閉じ力を確保するためグレード1シリーズを採用してください。
吊金具 ピボットヒンジ 文化制定品 丁番 文化制定品		

■設計上の注意事項

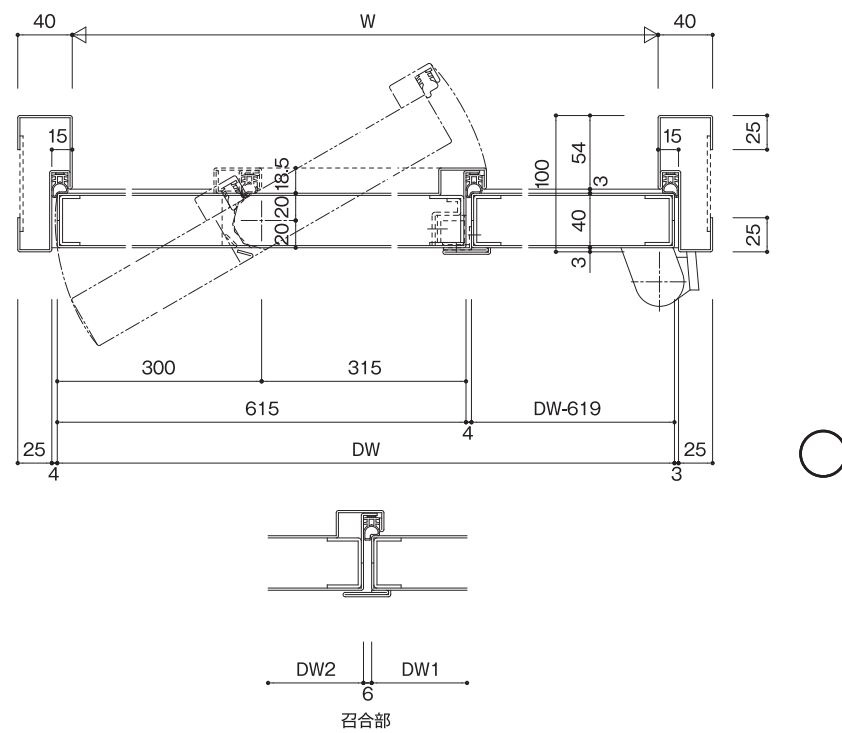
※物件ごとに附室の大きさ、形状、給気口の設置位置により、発生差圧が変化します。
本製品単体のみで差圧影響を解消できない場合があります。
※加圧防排煙設備の給気口位置により扉面に直接風が当たり、扉が閉まらない場合、
圧力調整装置の増設、もしくは給気口の位置変更が必要です。

■目板タイプSAT仕様納まり図

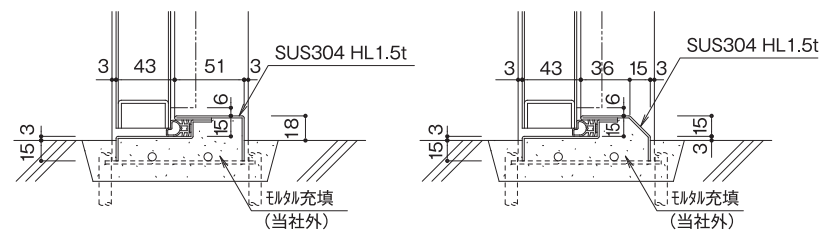
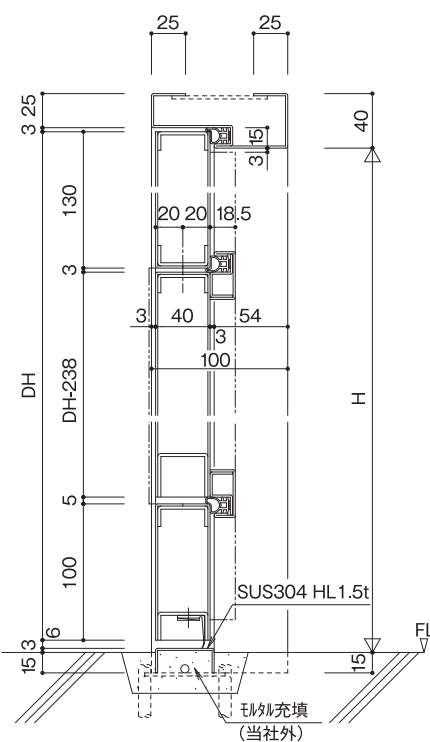
●姿図



●横断面

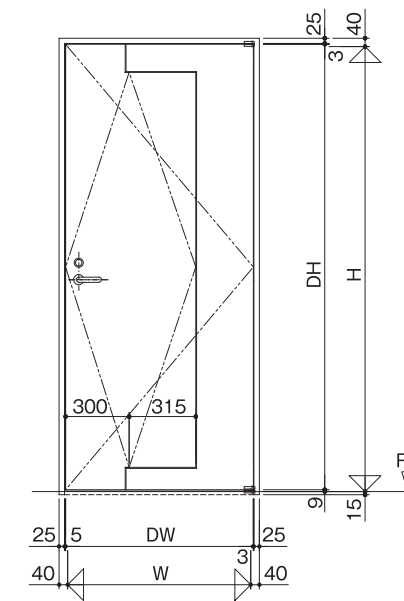


●縦断面

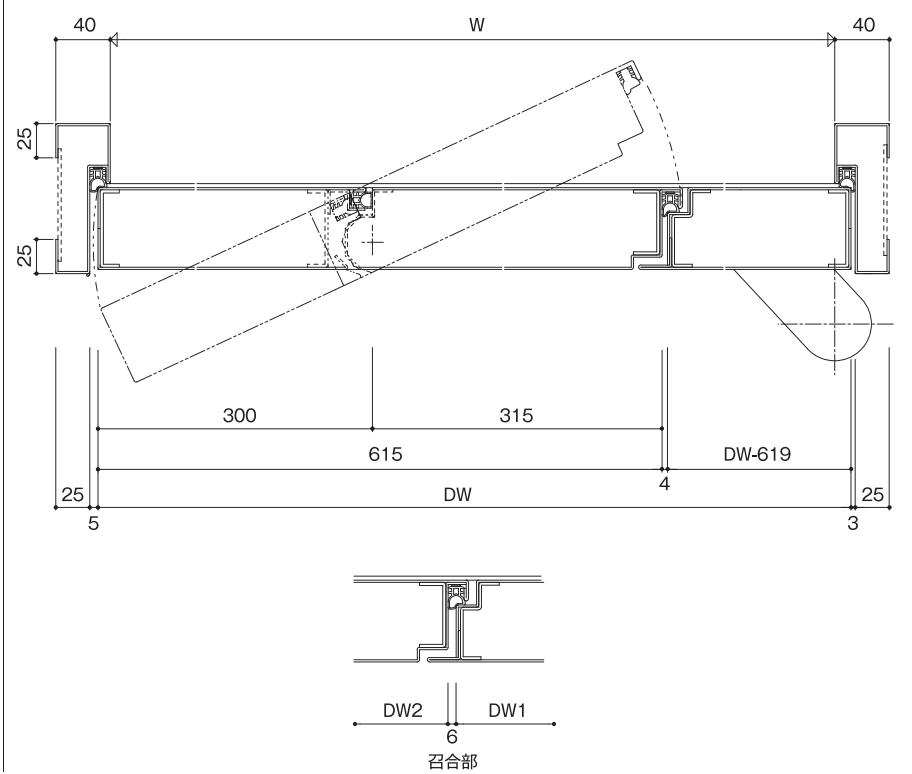


■フラットタイプSAT仕様納まり図

●姿図



●横断面



●縦断面

